



熊本大を見学する県外在住の留学生。ツアーは県内大学への進学を促そうと初めて実施された＝28日、熊本市中央区

県内14の大学・高等教育機関でつくる大学コンソーシアム熊本（会長・中山峰男崇城大学長）は28日、県外の日本語学校に通う留学生を対象にした大学ツアーを開き、魅力をアピールした。

留学生は熊本大を見学した後、4班に分かれ各大学を回った。ネパール出身で福岡市のグリマチャン・バビンドラさん（24）は「街の印象がよく、進学先と

熊本で学びませんか

県外留学生へ大学アピール

県外に住む留学生の進学を促そうと初めて実施。福岡と宮崎両県の4校から約170人が参加し、熊本大、熊本学園大、県立大、崇城大、東海大を見て回った。

熊本大であった開会で中山会長が「熊本は留学生へのサービスが充実し、全ての学問分野がそろっている。治安もよく安心して過ごせます」とアピール。各大学が学部構成や入試スケジュール、キャンパスの特色などを話した。

「県外に住む留学生の進学を促そうと初めて実施。福岡と宮崎両県の4校から約170人が参加し、熊本大、熊本学園大、県立大、崇城大、東海大を見て回った。」と話をした。によると、県内の留学生は5月1日現在、735人。（福井一基）